

日野高校の林業演習（三本松農場）を取材しました

平成 26 年 9 月 22 日、鳥取県立日野高等学校の三本松農場(日南町神戸上)での、林業演習の様子を取材に行きました。今回演習を行っていたのは、総合学科アグリライフ系列の生徒さんで、根雨の本校舎よりバスでの到着となりました。22 日の授業では、間伐・枝打ち作業が行われ、チェーンソー、斧、鋸にて作業が行われました。

担当の木村先生のお話では、「植林したきりで間伐していないので山が荒れている。水害や土砂災害にもつながっている」「林業の町、日南町の見本となるような演習林をつくりたい」「いい山を作ることが川下にいい水田・畑を作ることに繋がる」とのお話を伺うことが出来ました。

現在、約 50 ヘクタールの敷地で年間 300 本くらいの間伐作業をしているとの事です。



生徒には、なぜこの作業をするのか、理解した上で工夫して安全に活動することを指導されていました。また、地域の林業会社に就職するとの生徒もあり、地域に根差した教育が行われていることも感じました。

今回は今回伐採した丸太を使用して、作業道の土止め作業を行うとの事です。取材に協力いただき頂きました木村先生はじめ関係の皆様、ありがとうございました。

緑プロによる 高知県の林業視察に参加しました

平成26年9月10～11日、鳥取県緑の産業再生プロジェクト協議会による林業先進地視察研修がありました。NPOからも職員が参加しました。

高知県の木材生産額は 465(千万円)(鳥取県:152 千万円)(平成 24 年度 農林水産統計)、森林面積も 80%を超える林業県です。日南町以上の山村地区もあり、急斜面地での施業が課題となっています。

香美森林組合様

高知県香美市に事業所があります。森林林業再生プラン実施モデル地区に選定され、先進地林業機械・改良事業に取り組んでいます。

今回はオーストリア製タワーヤーダー(ロープウェイ状にワイヤーを張り、斜面を引きずって集材する方法)の見学をしました。質疑応答の際には、林業の先進事例としての取り組みがメディアにて紹介されるにつれ、若い人の林業への関心が高まり、若年労働者が増えつつあるという話も伺いました。

